

IV 新市建設計画によるゾーニング

新市が、地方の中核都市にふさわしい都市機能を持った調和のとれたまちづくりを実現できるよう、均衡のとれた新たな地域構成をめざし、各地域の自然や文化・産業の特色がお互いの連携の中で充分発揮されるようなスケールの大きな都市構造づくりをすすめます。

こうした考え方のもと、新市を**4つのゾーン**に構成し、公平な市民サービスの提供等を行い、各地域に居住する人々の一層の活性化を図っていきます。

(1) 各ゾーン連携の方向性

域内連携	<p>ゾーン内の情報ネットワークの早期充実及び生活道路網を充実させるとともに、ゾーン間の域内流動軸として放射状及び環状の道路体系を、公共交通手段等による域内循環の促進にも配慮しながら、長期的な視点に立って整備していきます。</p> <p>また、教育、医療、福祉等については生活道路網、情報網を活用し、個性ある各ゾーンの連携のもとにすすめます。</p>
広域連携	<p>域外との広域連携軸として東西方向のJR中央線、国道19号、中央自動車道の拡充・強化に加え、「かつりよくゾーン」及び「おもいやりゾーン」から「いきいきゾーン」を経て飛騨地方とを結ぶ南北軸として既存幹線道路や新たな幹線道路の整備を促進します。</p> <p>また、木曽、伊那、飛騨への玄関口としての機能や交流拠点としての機能、さらに連携の基盤としての情報ネットワークの機能を充実させます。</p>

(2) ゾーン構成

かつりよくゾーン	<p>古くから、東山道、中山道、南北街道及び木曽西古道が交わり、交通の要衝として発展し、多様な文化が交わってきました。新市においてもJR中央線、中央自動車道、国道19号により、市の玄関口としてにぎわいの中心となっています。</p> <p>また、JR中津川駅を中心とした中心市街地は新市の顔であり、大規模店舗や飲食店の立地など商業の中心であるとともに、ゾーン全体に電気機械、製紙等製造業や石材業における立地と優れた先端技術の集積があります。</p> <p>産業経済の中心地として製造業等の研究開発機能の充実と人材育成に努めるとともに、周辺部の雇用の場として企業誘致等に努めます。</p>
いきいきゾーン	<p>東濃ヒノキに代表される豊かな自然資源を基に、日本古来の産業と匠の技を活用した林業の盛んな地域であり、恵まれた気象条件と豊かな自然環境の中で、優れた農作物を産出する農林業地域でもあります。</p> <p>また、青川と呼ばれる付知川を中心に、清流に育まれた快適な居住環境の中でのびのびと暮らせる地域です。豊かな山林資源と匠の技を活かした伝統技術の殿堂とし、農業基盤を活かした農林業の振興とともに、快適な居住空間の整備に努めます。</p>

<p>おもいや りゾーン</p>	<p>湯舟沢・馬籠から北へ、木曾川を渡り川上川をさかのぼって夕森公園までの地域は、歴史ある文化と自然が創り出した造形美あふれる観光資源に恵まれた「いやし」の空間であり、恵まれた環境、観光資源、坂下病院などを JR 坂下駅、国道19号などの交通網がつなぐ交流の盛んな地域です。</p> <p>これらの資源を活用するための交通網の整備や観光振興に努めるとともに、保健、医療などの分野においても広域的なサービス提供と人材の育成に努めます。</p>
<p>えなさん ゾーン</p>	<p>日本百名山の恵那山を中心に、新市の恵まれた自然を体験し、自然と親しむ地域であるとともに、この地域の地勢から土石流等の自然災害が懸念されるため、防災対策に力を入れているゾーンです。</p> <p>自然のすばらしさと厳しさを体感するネイチャースクール（自然体験学校）の開催など、新市の自然と環境、治山治水をアピールする地域です。そして、市民にとっても対外的にも新中津川市のシンボルとなるゾーンとしていきます。</p>